



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会 発行日 2020年9月6日

№. 76

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

ローマの信徒への手紙 12章12節



礼拝献花より

御言葉に生きる

御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。

申命記 30章 14節

ルーター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



シリーズ説教

『必ずの神』

牧師 佐藤和宏

マタイ16章21節～28節

主イエスはこのとき、「人の子が多く
の苦しみを受けて殺される」と受
難を予告されています。それは彼ら
に強い衝撃を与え、それを聞いたペ
トロたちは、同時に告げられる言葉
を一切聞くことができなほどでし
た。2つのことに触れたいと思いま
す。

第一に聞くことができなかつたこ
とは、十字架の死と共に告げられた
復活についてでした。敵の手に渡さ
れ、殺されてしまうという事実を真っ
向から否定し、かえって敵を打ち破
ることで救いが訪れると期待してい
た彼らには、十字架の死を通して開
かれる新しい命への道について告げ
られている言葉を聞き入れることが
できなかつたのです。つまり、人間
のことを思った彼らの期待は、十字
架なしの救い、神に力による救いで
あったのですが、神の思いは十字架
による救い、力ではなくかえって弱

さと映る方法を通しての救いにほか
ならなかつたのです。両者の隔たり
を理解することができず、ペトロは
ついに主イエスをいさめ始めたので
した。そして第二に聞くことができ
なかつたことは、「必ず」と言われて
いる事実についてでした。「絶対、必
ず」とは、ただ神にのみ帰せられる
表現なのです。この神の「必ず」は、
その神の御手の中からもれるものは
何一つないということです。すべて
が神の御手にあるということは、す
べてについて神は意味を与えておら
れるということです。そして、すべ
て無駄なものはなく、すべてが神の
御心のままに実現するのです。これ
が「神のことを思う」とき、明らか
にされることなのです。ところが、
私たちは時に「人間のことを思って」
しまうことがありますから、この事
実を見失ってしまうのです。大きな
自然災害等に襲われるとき、私たち
はただ恐れ、「神がおられるのに、ど
うしてこのように悲惨な現実がある
のか。神はおられないのではないか」
と疑いの中に置かれてしまいます。
世界を巻き込む感染症の猛威にさら
された今、私たちはただ人間の知恵

だけに頼ろうとし、あふれるような
情報に右往左往しているように見え
ます。教会において財政的な不安を
感じるときも、私たちは「神のこと
を思う」よりも、「人間のことを思っ
て」、解決方法を見いだそうとするの
です。それぞれの困難に直面し、そ
こから逃れることだけを求める私た
ちの姿は、「人間のことを思っている」
と言えるでしょう。人の思いは困難
から逃れることだけに目を向けよう
とするのですが、神の思いは困難に
さえ意味を与えておられるからです。

ペトロは主イエスについて「メシ
ア、生ける神の子」と告白したので
すが、同時に受難予告を受け入れら
れなかつた、この事実は、彼が表面
的にイエスを理解していたというこ
とでしょう。神の必ずは、深みに示
されているのです。それは人間のこ
と、人間の常識や能力、経験、力で
は知ることのできない深みに隠され
ているのです。

「希望をもって喜び、苦難を耐え忍
び、たゆまず祈りなさい。(ローマ12
章12節)」

今日、お読みいただいた第二の朗
読にありました。この「希望」は、

人間のことを思った希望ではありま
せん。あくまでも、私たちの思いを
高く超えた神の御心によって明らか
にされる希望なのです。神の必ずに
すべてを委ねることで得られる希望
です。その希望は決して虚しく潰え
ることはなく、私たちに喜びをもた
らすのです。この神への確かな希望
は、私たちを真の喜びへと導き、「苦
難を耐え忍ぶ」勇気を与えるので
す。新型コロナウイルスの影響の中
にあつて、私たちは不安に怯えてい
ます。進展しないようにみえる宣教
に無力さを覚えます。財政的な困難
に頭をかかえる日々が続きます。し
かし、私たちのために十字架の死を
遂げ、復活された主イエスは、神の
必ずにすべて委ねられた姿を私たち
に示されました。それは、私たちも
また「人間のことでではなく、神のこ
とを思い」、神の必ずに委ねて、それ
が確固たる希望となつて、喜びにあ
ふれ、また苦難を耐え忍び、絶えず
祈り続ける一人ひとりとされるた
めなのです。神の必ず、神の御手の
うちにあつて、私たちが安心して今
週も歩み続けることができるのです。
(聖霊降臨後第13主日)

●新コーナー

「御言葉に生きる」

新型コロナウイルスの影響により、礼拝を休止し、その後再開されても、依然全員で会うことができません。先日、ある方から「皆と交流する機会が考えられないか」とのご提案をいただき、月報紙面と通して交流することにいたしました。

「御言葉に生きる」という主題のもと、歩み始めている私たちですから、お互いにこの主題について感じていることや考えていることなど、自由に分かち合い、交流する機会となればと願っています。

今回は、お二人の方に書いていただきましたが、今後は原稿を募集いたします。「御言葉に生きる」という主題で、聖句が重なつてもかまいません。長さも自由です。例えば、愛唱聖句をご紹介いただいで、理由や感じていることなどを簡単にまとめていただければと思います。毎月20日を締め切りの目処とさせていただきます。会うことが難しい今、紙面を通して互いを覚え、折り合ってまいりましょう。(佐藤)

「野の花がどのようなに育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言っておく。栄華を極めたワロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。」(マタイ福音書6章28節後半〜29節)

私の通っていた中学校では、2、3カ月に一回、映画鑑賞会というのが講堂でありました。ある日の映画鑑賞はシドニー・ポワチエ主演

御言葉に生きる

1

私の愛唱聖句



○田○一○郎
／永○〇○子

の「野のユリ」でした。この映画は1963年の作品で、彼はこの映画で黒人俳優として初めてアカデミー主演男優賞を取りました。アリゾナの砂漠を放浪していた主人公が、一軒家にたどり着きます。そこには5人の修道女が住んでおり、荒地に教会を建てようとしていました。主人公も無理矢理その教会建設に巻き込まれ、苦勞の末教会が完成するというお話でした。当時中学生だった

私は、主人公が苦勞しながら大勢の人の協力を得て、教会を完成させるという物語に感動したものでした。後に聖書を読むようになってこの聖句を発見し、イエスが「思い煩ってはならない」ことの譬えとして語られたことを知りました。ちなみに何故だか分かりませんが、日本語の聖書では「野の花」となっていますが、英語の聖書では「The lilies of the field (野のユリ)」となっています。神様に対する絶対的な信頼がなければ、思い煩わず生きることがなかなかできません。私もなかなかその境地に達せませんが、この聖句を読む度にあの映画のことを思い出します。(○田)

「すると主は『わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中で、十分に發揮されるのだ』と言われました。」(コリントの信徒への手紙ニ 12章9節)

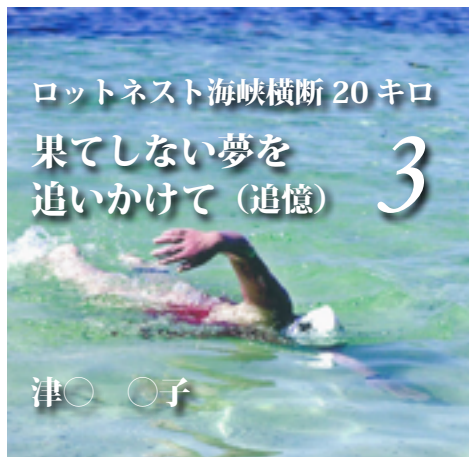
20数年前、私がつらく苦しい状況の中、食事も喉を通らず、「助けて下さい。この苦境から救って下さい」と、こうしてほしい、ああしてほしいと祈り続けていました。祈り疲れ、

目の前の聖書を手に取り開くと、「このみ言葉」が目飛び込んで来ました。「主よ、お許し下さい」と、思わず口から出ていました。「この状況が、主が与えられ、かえられないなら、弱い私が乗り越えていきますように、助けて下さい」と祈っていました。自分勝手に傲慢な祈りをしている自分に気づかされました。それ以来、この御言葉がいつも私を支えてくれています。

それから月日が経過し、佐藤先生のもとで、お説教を聞き、聖研で学ぶ中、先生の飾り気のない、シンプルなお教えが胸にストンと落ちて、「このみ言葉」が、より深く頭でなく心で理解出来たように思います。私がではなく、主が私をとらえて下さり、信仰を与えて下さり、愛して下さっていると。

大切な人を天へ見送り、ひとりきりだと淋しく悲しく思う時、いつも主が傍にいて、慰め励まして下さいます。

主がおっしゃるように「わたしの恵みはあなたに十分である」のみ言葉どおり、恵みの中に日々生かされています。感謝です。(永○)



デュオもスタートして6時15分。 またもや船の上で、「私日本人、船の名は「Top cat」、ボス大貫、テレホン、大漁旗??? マップ、いや違う「フラグ」とわめき続け、「あれだ! Look that, My friendship」デュオの船を見つげ、やっと救いの神が来たかと思っ た。デュオのマナージャーが顔を出してくれ、連絡を頼む。(もうそのときは大貫さんと連絡が取れ、私がどこかに失踪したことが分かってい たようだが)。「今、パドラーと船が会 えてここに向かうようです。待つよ うに」

「うたあー「My boat, Look that」思っ たより低いところに大漁旗がなびき、そこには尾辻コーチと池畑マナー ジャーが、警備船に乗り現れた私を

見て、目が点になっていた。訳を話したが、そこにはもうパドラーさんの姿は見えず、私が着く前にまた探しに出たらしい。言葉が分からない情けなさ、とっさの出来事の対応が どうしてもうまくいかず、すれ違い ばかりになってしまった。

もうスタートから45分が過ぎてい た。スタート地点に三度戻り、「Put down, swim stat」なんて言われても、しばらく考え込んでしまった。今はパドラーさんもいて、警備船の二人に囲まれている。この人達は私のた めにどんな思いで走り回ってくれた のであろうかと。すべて私があわて て舞い上がって出発したことから始 まったのだ。よし、気を取り直して いくか。今までのことは水に流して。 泳ぎ終わるまで忘れて。

水に入ると、うそのように体も軽 く、どんどん進む。耐寒の練習は随 分した。夕べから今朝にかけて、水 2リットルにCCDを溶かし、飲み 干していたのが幸い。朝はお握り、 ウイダリゼリー。睡眠も排便もOK。 水の補給は始めは40分から1時間に 一回。次回から30分に一回。 1500mポイントの警備船を追

い越す。追い風。一回目の補給。「追 い風です。ラッキーです。今のうち に行きましょう」と指令。体は軽く どんどん動く。インフルエンザで寝 ていたわりには。水を飲もうと頭を 後ろに倒すと、波をもちにかぶりう まく飲めない。「飲んでいるよりも泳 いだほうが楽」と聞いたのだが、 これが「辛い」と聞こえたようだ。 7キロ地点。行け行けコール。「えー さっきまでアップのサインが、尾辻 コーチはグイグイ手を回す。止まら ず止まらず進めの合図。「どんどん行 きましょう。今のうちです。どんどん

とマナージャーの声。後ろから波が どんどん寄せてくる。

受け取ったボトルには「いい調子 ですよ。どんどん行きましょう」と書 いてある。「あまり水を飲んでいない ようよ」「ゼリーですよ」船の上か ら二人の声が聞こえてくる。「補給で す」と、今度は水とミルクのチュウ ブが来る。少しなめてみる。甘い、 いける。チュウチュウ吸って、歯磨 きチューブほどの大きさが一瞬で なくなつた。あーもう一度欲しい。(続く)

今月の受洗記念日の皆さん

- 4日 ○田和〇姉
 - 5日 松〇〇太郎兄
 - 9日 ○井〇〇之丞兄、若〇〇紗姉
 - 30日 吉〇〇沙姉、吉〇〇朗兄
- 吉〇樹兄

おめでとうございます。



「御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にある のだから、それを行うことができる。」申命記30章14節
 福音が伝道会ウェブサイト <https://www.jfc-fujigaoka.org/>
 フェイスブックで礼拝のライブ中継をしています。(毎日曜日午前10時)